





Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

## 解答例

2020年6月13日朝刊

静岡伊勢丹（静岡市葵区）で12日、山梨卓南アルプス市産サクランボの販売会が始まった。静岡、山梨の両県が連携して相互の特産品の消費喚起に取り組み「バイ・ふじのくに」の一環で、静岡県民向け企画としては第1弾。14日まで、摘みたてのサクランボを販売する。

南アルプス市観光協会の職員が、旬を迎えた人気品種の佐藤錦と紅秀峰を並べた。初日は大勢の

### サクランボ販売 静岡でスタート

市民が列を作り、用意した500円は約1時間で完売。スタッフが追加発注するなど対応に追われた。

佐藤錦千円、紅秀峰1500円（いずれも税込み、1kg200g入り）。同協会によると、地元の直売所で買うよりも200〜300円安いという。伊井和美事務局長は「農家は非常に苦しんでいる。販売会に感謝している。多くの人に味わってほしい」と話した。

## 静岡山梨観光と消費促進

川勝平太知事は12日、県内宿泊施設を利用する県民を対象に1泊当たり最大5千円を割り引く観光促進キャンペーンについて、山梨県民への対象拡大を検討する考えを示した。静岡伊勢丹（静岡市葵区）で開かれた山梨卓南アルプス市産サクランボ販売会で明らかにした。

静岡と山梨の両県は「バイ・ふじのくに」と銘打ち、相互の特産品やサービスの販売促進に取り組んでいる。川勝知事は「山梨県民にも旅館の5千円オフを広げたい。観光協会などと議論して、さらに一歩進めた経済圏をつくる」と述べた。

静岡県民向けの宿泊費助成は16日に始まる。県は対象拡大について「予算の裏付けやシステム上の課題もあり、調整中」（観光振興課）とする。

### 知事 山梨県民も 宿泊費割引検討

①「バイ・ふじのくに」はどのような取り組みですか。30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

静	岡	、	山	梨	の	両	県	が	連	携	し	て	相	互
の	特	産	品	の	消	費	を	喚	起	す	る	こ	と	。

②静岡県民向けの企画として販売された山梨県産の特産物は何ですか。

**（摘みたてのサクランボ。旬を迎えた人気品種の佐藤錦と紅秀峰）**

③今後静岡県産の特産物が山梨県民に向けて販売されますが、あなたはどのようなものだと思いますか。特産物名と販売したい理由を書きましょう。

<特産物>

- ・メロン
- ・イチゴ（静岡県内で消費している品種など）
- ・干物

<理由>

- ・静岡県ではおいしいメロンがたくさん生産されていることを知って欲しい。
- ・静岡県外になかなか出回らない章姫を知ってもらい、おいしく食べて欲しい。
- ・煮魚とは違う干物のおいしさを知って欲しい。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 中村都（静岡市立井宮小学校 教諭）

（小学校高学年～中学校、高校／総合）